

環境活動レポート

対象期間 2020年 5月 1日～2021年 4月30日

(エコアクション21ガイドライン2017年版準拠)



進興金属工業株式会社

発行日 2021年 8月 18日

改訂日 2021年 12月 21日

目 次

I . 会社概要と対象範囲	1
1. 会社概要	1～2
2. 認証・登録の対象範囲	2
II . 環境方針	3
III . 環境目標	4
IV . 環境活動計画	4
V . 環境目標 活動計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容	5
1. 環境目標・環境活動計画の実績	5
2. 取組結果の評価と次年度の取組み	6～13
VI . 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	14
1. 主な適用環境関連法規等	14
2. 違反、訴訟等の有無	14
VII . 代表者による全体評価と見直しの結果	14

I. 会社概要と対象範囲

1. 会社概要

1) 名称および代表者名

進興金属工業株式会社

代表取締役社長 志水 嘉津彦

2) 所在地

本社・工場 愛知県みよし市筋生町辰己山102

3) 環境管理責任者および担当者の連絡先

管理責任者
及び連絡先

品質保証課長

田中 俊行

TEL: 0561-36-8883

E-MAIL: t.tanaka@e-shinko.co.jp

担当者

同上

4) 事業内容

- ・金属部品の精密機械加工及び組立
- ・液化石油ガス用ガス放出防止器の設計及び製造

5) 事業規模 (2021年 4月期)

資本金 24百万円

売上高 529百万円

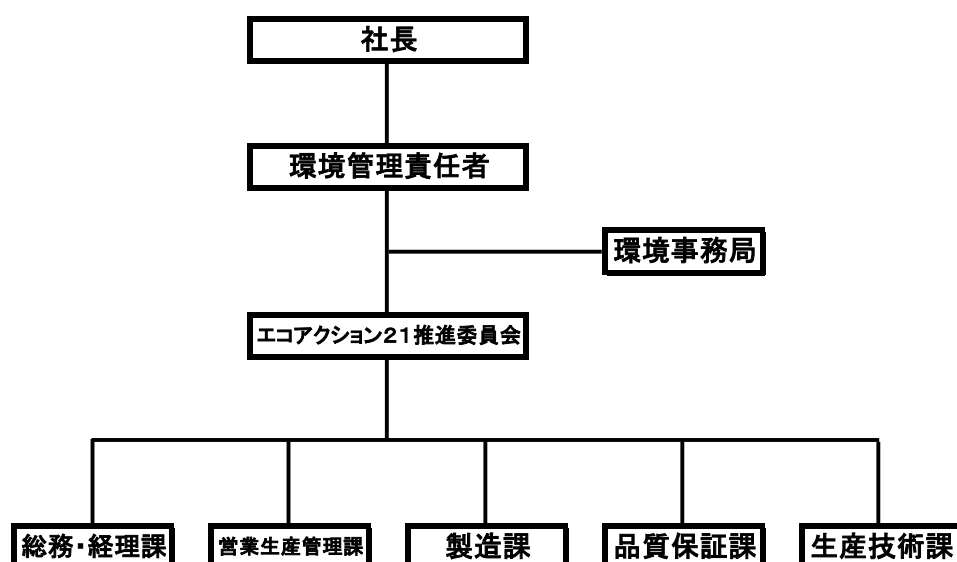
規 模	本 社
従業員	51 名
床面積(延べ)	3,367.7 m ²

※うちパート社員・契約社員 15名を含む

(2021年8月18日現在)

6) 事業年度 5月1日～4月30日

7) 推進体制表



I. 会社概要と対象範囲

7) 役割と責任権限

	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者(社長)	・環境経営の統括責任者 ・経営資源(人員・設備・費用)の準備 ・環境方針の策定 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理の責任者 ・環境目標・環境活動計画の承認 ・環境活動の管理状況(実施状況と結果)を代表者へ報告 ・全社員への周知、教育と訓練 ・環境活動レポートの作成責任者
環境事務局 (EA21推進委員会)	・環境管理責任者の補佐 ・EA21推進委員会の定期開催とその事務局 ・環境負荷及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動のデータ収集と実績まとめ ・環境関連法規等取りまとめと遵守状況のチェック ・環境管理文書・記録の作成と保管 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長・管理職	・環境経営システムの実施(自部門内・・・以下同じ) ・従業員への環境方針の周知 ・環境活動のデータ収集と入力 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・手順書作成及び運用管理 ・緊急事態への対応のための手順書作成 ・教育・訓練実施、記録の作成 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・自分の役割を理解し、自主的・積極的に環境活動へ参加

2. 認証・登録の対象範囲

- 1) サイト 全社、全事業を対象
- 2) 事業内容 ・金属部品の精密機械加工及び組立 ・液化石油ガス用ガス放出防止器の設計及び製造
- 3) 従業員 51
- 4) 環境活動レポートの対象期間
 - ①当期の活動期間： 2020年5月1日～2021年4月30日
 - ②次期の活動期間： 2021年5月1日～2022年4月30日
 - ・次期の環境活動レポートの作成 2021年6月(予定)

環 境 方 針

環境経営方針

進興金属工業株式会社

<環境理念>

当社は、金属部品の切削加工及び組み立ての事業活動において地球環境保全が人類共通の重要課題である事を重要視し環境経営システムを構築、運用及び、地域とのコミュニケーションを大切に『人と地球にやさしい』生産体制に取り組むことを推進します。

<行動指針>

- 1 環境関連法規制や当社が約束した要求事項を遵守します。
- 2 経営に関わる課題は、事業と環境との関りを考慮しチャンスと捉え「環境目標・環境活動計画」を定め実施事項は以下の5項目とする。
 - ① 省エネルギーに取り組み二酸化炭素の排出量を削減します
 - ② 分別の徹底・リサイクルの推進に努め産業廃棄物排出量を削減します
 - ③ 節水に努め総排出量を削減します
 - ④ グリーン購入及び社内リサイクルを推進します
 - ⑤ 製造工程の改善を行い、環境にやさしい工程を目指します
- 3 本理念、方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的な改善を推進します

制定日 2013年 12月 24日
改訂日 2020年 5月 21日
進興金属工業株式会社

代表取締役 社長

志水嘉津彦

Ⅲ. 環境目標

環境方針に定めた事項につき、基準値を定め次のとおり中期目標及び年次別目標を設定し取組みます。
2018年度の結果がすでに2019年度の目標をクリアしており、2019年度の目標をよりチャレンジ度の高い目標値に見直しました。(見直し項目:電気、ガソリン、軽油、灯油、一般廃棄物)

		単 位	基準値	年 次 目 標			
			(2013/5月～ 2014/4月)	2017年度 (2017/5月～ 2018/4月)	2018年度 (2018/5月～ 2019/4月)	2019年度 (2019/5月～ 2020/4月)	2020年度 (2020/5月～ 2021/4月)
二酸化炭素排出量	電力使用量の削減	削減率%	—	5%	6%	30%	31%
		(kWh/百万円)	1,444	1,372	1,357	1,011	996
	ガソリン使用量の削減	削減率%	—	4%	5%	23%	24%
		(ℓ/百万円)	4.60	4.41	4.37	3.54	3.49
	軽油使用量の削減	削減率%	—	4%	5%	32%	33%
		(ℓ/百万円)	8.74	8.39	8.30	5.94	5.86
	灯油使用量の削減	削減率%	—	4%	5%	50%	51%
		(ℓ/百万円)	12.43	11.94	11.81	6.22	6.09
	排出量合計	削減率%	—	4.9%	5.9%	20.0%	21.0%
		(kg-CO ₂ /百万円)	812.5	772.6	764.5	650.0	641.8
(kg-CO ₂ /年)		437,652	—	—	—	—	
一般廃棄物排出量の削減	削減率%	—	4%	5%	41%	42%	
	(kg)	4,070	3,907	3,867	2,401	2,361	
産業廃棄物の削減	削減率%	16360(変更前)	4%	5%	6%	7%	
	(kg)	29885(変更後)	15,706	15,542	15,378	27,793	
上水使用量の削減	削減率%	605(変更前)	4%	5%	6%	7%	
	(m ³)	652(変更後)	581	575	569	606	
グリーン購入率の向上	向上率	基準値	2%向上	1%向上	維持	維持	
	(目標%)	57.8%	59.8%	60.8%	60.8%	60.8%	
工程改善活動の推進 (管理項目 不良廃却率の削減)	削減率	0.78%(変更前)	10%減	20%減	30%減	10%減	
	(%)	0.99%(変更後)	0.70%	0.62%	0.55%	0.89%	

- 注) 1. 化学物質は、1t以上の使用がなく、約3%と少量使用のため削減目標を設定せず、使用量の管理を行います。
またねじ止め剤は客先指定であり、含有する化学物質もごく少量の為削減目標はもちません。
灯油に含有する化学物質は二酸化炭素低減にて活動を進めています。
2. 購入電力調整後排出係数: 関西電力株式会社(2018年度) 0.334(kg-CO₂/kWh)を使用しております。
3. 「産業廃棄物」及び「上水使用量」「工程完全活動」の基準値を2020年度から変更しております。
「工程改善活動」については目標値の変更をしております。

Ⅳ. 環境活動計画

環境目標を達成するために、次の活動計画に取組みます。

環 境 目 標	活動計画・達成手段(実施部門・責任者)	担当部署
二酸化炭素排出量削減	① コンプレッサーの省エネ機種への変更 ② 休憩中の余分な電気の消灯 ③ 空調の温度設定(夏季:28℃ 冬季:20℃) ④ 空調のフィルター清掃(3月) ⑤ 蛍光灯からLEDへの変更	製造課 〃 総務経理課 〃 〃
	① アイドリングストップ ② 急発進、急加速の禁止 ③ タイヤ空気圧の確認(給油時) ④ 不要な荷物をのせない ⑤ 納品車両の燃費管理 ⑥ 納品車両の更新時、低排出ガス車への切替	営業生産管理課 〃 〃 〃 〃 総務経理課
	① 暖房使用時の温度設定(暖房)	製造課
	① 廃棄物の有価償却出来るものの確認 ② 一般廃棄物の分別 ③ コピー用紙の両面印刷の推進	営業生産管理課 品質保証課 総務経理課
	① 産業廃棄物の分別 ② 廃棄物の有価償却出来るものの確認	製造課 営業生産管理課
上水使用量の削減 (2020年目標:7%)	① 上水使用量の監視・確認 ② 節水表示をし意識向上	総務経理課 〃
グリーン購入率の向上 (2020年目標:60.8%維持)	① 購入時エコ商品選択	総務経理課
工程改善活動の推進	① 不良損失金額の低減(率)	製造課

V. 環境目標 活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1. 環境目標・環境活動計画の実績

環境目標及び環境活動計画に従って全員で当期間運用・実施した結果は、下表のとおりです。

		単位	基準値 (2013年実績)	期間(2020/5月～2021/4月)			
				目 標	実 績	達成度	評価
二酸化炭素排出量	電力使用量の削減	kWh/ 百万円	1,444	31.0%削減	18.8 %削減	85.0%	×
				996	1,172		
	ガソリン使用量の削減	ℓ/ 百万円	4.6	24.0%削減	37.0 %削減	120.3%	◎
				3.50	2.9		
	軽油使用量の削減	ℓ/ 百万円	8.7	33.0%削減	6.9 %削減	72.4%	×
				5.86	8.1		
	灯油使用量の削減	ℓ/ 百万円	12.4	51.0%削減	62.9 %削減	132.2%	◎
				6.1	4.6		
	排出量合計	kg-CO2/ 百万円	812.5	21.0%削減	47.0 %削減	149.0%	◎
				641.8	430.8		
	kg-CO2/ 年	437,652	—	228,816	約47.7%減	—	
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量の削減	kg	4,070	42.0%削減	53.0 %削減	123.5%	◎
				2,361	1,912		
	産業廃棄物の削減	kg	29,885	7.0%削減	31.7 %削減	136.2%	◎
				27,793	20,403		
上水使用量の削減		m³	652	7.0%削減	28.1%増加	72.6%	×
				606	835		
グリーン購入率の向上		%	57.8%	維持	—	97.3%	△
				60.8%	59.2%		
工程改善活動の推進(不良廃棄率)		%	—	0.89%	0.84%	106.0%	○

* 化学物質の使用量を監視した結果、指定量以上の使用はありませんでした。

(指定量・・・PRTR法における年間取扱量届出対象1t/年で弊社では約3%の使用量になります)

* 「グリーン購入率の向上」「工程改善活動の推進」の基準値は前年同期です。

※評価の基準: 達成度(削減目標＝目標/実績、増加目標＝実績/目標)により評価(以下同)。

◎ : 120%以上 ○ : 100%以上～120%未満 △ : 90%以上～100%未満 × : 90%未満

※表示数値は、管理ソフト(自動計算、端数処理(原則表示単位未満四捨五入))によっており、手計算結果と若干の差異が出る場合があります。

2. 取組結果の評価と次年度の取組み

・本年度の取組結果は、下記の様になっております。

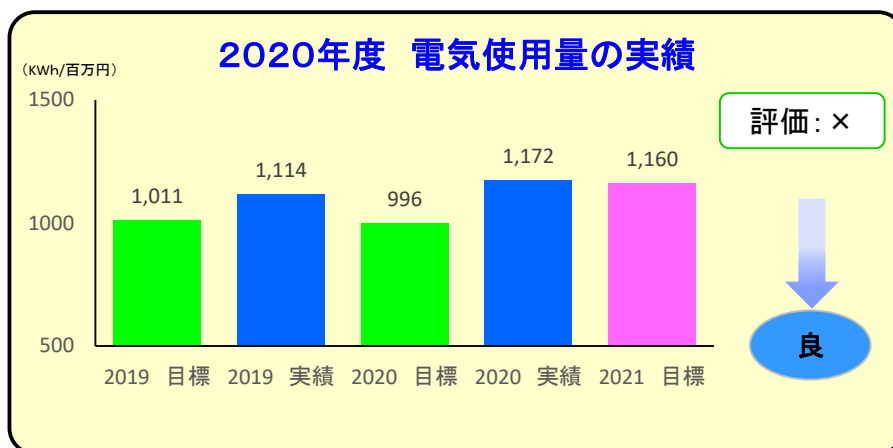
「化学物質使用量」については対象となる物質及び使用量を把握しております。PRTR法における年間取扱量の届け出対象となる1t/年に対して約3%程度の使用量でした。

・2021年度は2020年度を基準とし目標値の見直しを行い活動を進めて行きます。

また、次年度への取り組みは各項目の「活動計画」の「次年度の取組」の内容にて活動を進めて行きます。

目標に対する達成度	
◎	・・・120%以上
○	・・・100%以上～120%未満
△	・・・90%以上～100%未満
×	・・・90%未満

電力使用量の削減 (単位:KWh/百万円)		
目標と実績	2019 目標	1,011
	2019 実績	1,114
	2020 目標	996
	2020 実績	1,172
	達成度	85%
	評価	×



(単位:kWh/百万円)

活動計画	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント
	①コンプレッサの省エネ機種への変更	製造課	継続	・②～⑤の朝礼や掲示物などによる意識づけにより社員の省電力に対する意識向上は継続していますが、昨年に引き続き、工場内の大型涼風気の設置、スポットクーラーの使用、また電気ストーブの増設により結果として電気使用量がUPしてしまいました。
	②休憩中の余分な電気の消灯		継続	
	③空調の温度設定(夏季:28℃冬季:20℃)	総務経理課	継続	
	④空調のフィルター清掃(3月)		継続	
	⑤蛍光灯からLED照明への変更		継続	

【改善事例】



《コンプレッサの省エネ機種への変更》

工場内のエアの使用状況に応じて、稼働負荷を調節できるよう、設定を3つ準備し省エネ稼働を推進。

《空調の温度設定》

空調のリモコンへ設定温度を掲示しムダな電力を使用しないよう意識づけ



《LED正面への変更》

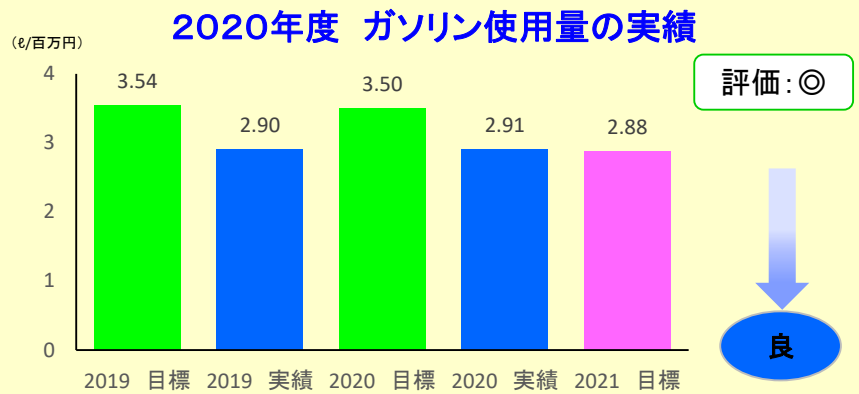
随時LED照明へ変更。

《電気に関する各種表示》

便座の暖房など意識づけの表示。



ガソリン使用量の削減 (単位:ℓ/百万円)		
2019 目標	3.54	
2019 実績	2.90	
2020 目標	3.50	
2020 実績	2.91	
達成度	120%	
評価	◎	



(単位:ℓ/百万円)

項目	担当	次年度の取組	評価とコメント
①アイドリングストップ	営業生産管理課	継続	・仕入先等の配送、引取りをトラック(軽油使用)に変更し低減効果が継続している。 ・社員の通勤送迎車両を燃費の良い軽自動車での継続。 ・社用車の燃費管理や「運転10箇条」での啓蒙活動の継続により運転者の意識向上がみられました。
②急発進、急加速の禁止		継続	
③タイヤ空気圧の確認(給油時)		継続	
④不要な荷物をのせない		継続	
⑤納品車両の燃費管理		継続	

【改善事例】



《社用車の低排出ガス車への切り替え》
社用車の買い替え時に低燃費車両を意識した車両選定を実施。

《運転の10箇条による意識づけ》
社用車へ10箇条を運転前に確認できるよう掲示し運転者の意識づけを図る。

《燃費管理》
「車両運行記録表」にて記録をとり毎月の燃費管理を実施。

進興金属運転10箇条

- 1 ふんわりアクセル
- 2 車間距離にゆとりを持って加速・減速の少ない運転
- 3 減速時は早めにアクセルを離そう
- 4 エアコンの使用は適切に
- 5 ムダなアイドリングはやめよう
- 6 渋滞を避け余裕をもって出発しよう
- 7 タイヤの空気圧から始める点検・整備
- 8 不要な荷物はおろそう
- 9 走行の妨げになる駐車はやめよう
- 10 自分の燃費を把握しよう

車両運行記録表 (車両別)

車種	車台番号	走行距離	燃料消費量	燃費	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

事故履歴表

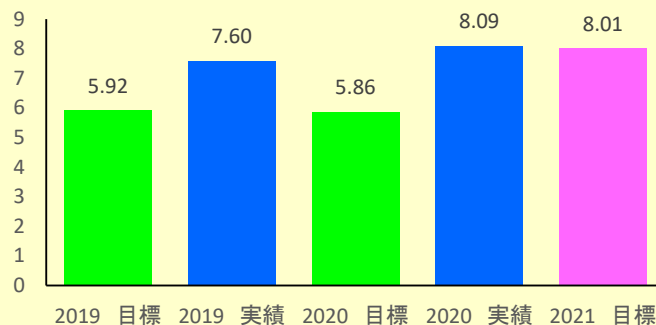
車種	車台番号	事故発生状況	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

※ 事故発生時は、必ず「事故発生報告書」を提出してください。

軽油使用量の削減 (単位:ℓ/百万円)		
目標と実績	2019 目標	5.92
	2019 実績	7.60
	2020 目標	5.86
	2020 実績	8.09
	達成度	72%
評価		×

2020年度 軽油使用量の実績

(ℓ/百万円)



評価: ×

良

(単位:ℓ/百万円)

項目	担当	次年度の取組	評価とコメント
①アイドリングストップ	営業生産管理課	継続	・軽油の使用条件が変わったので本年度の使用料を基準年とし目標値の見直しを行います。 (トラックを小型車に変更したことで得意先への納品だけでなく、仕入先への配送、引取りなどで走行距離が増え灯油の使用量が増えた為)
②急発進、急加速の禁止		継続	
③タイヤ空気圧の確認(給油時)		継続	
④不要な荷物をのせない		継続	
⑤納品車両の燃費管理		継続	

【改善事例】

進興金属運搬 10箇条

- 1 ふんわりアクセル
- 2 車間距離にゆとりを持って加速・減速の少ない運転
- 3 減速時は早めにアクセルを離そう
- 4 エアコンの使用は適切に
- 5 ふだんアイドリングはやめよう
- 6 渋滞を避け余裕をもって出発しよう
- 7 タイヤの空気圧から始める点検・整備
- 8 不要な荷物はあろうよう
- 9 走行の妨げになる駐車はやめよう
- 10 自分の燃費を把握しよう

《運転の10箇条による意識づけ》

社用車へ10箇条を運転前に確認できるように掲示し運転者の意識づけを図る。

《燃費管理》

「車両運行記録表」にて記録をとり毎月の燃費管理を実施。

車両運行記録表 (車両別)

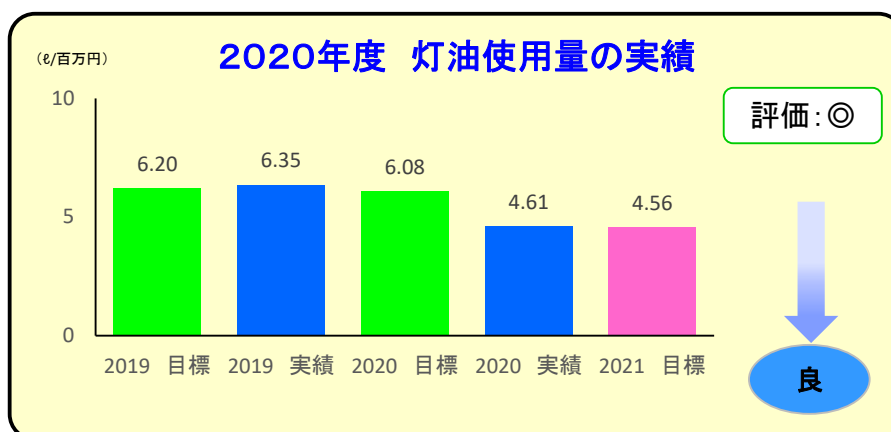
年 月 日	車種	No.	運行時間	走行距離	燃費	燃料消費率	燃費効率	燃費改善
日付	使用車名	行先・用途	時間	時間	入庫時ノータ	給油	オイル	点検
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	項目
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	1 エンジンオイル
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	2 ファンベルト
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	3 冷却水
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	4 ブレーキ油
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	5 バッテリー液
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	6 ハンドル
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	7 ブレーキペダル
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	8 クラッチペダル
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	9 サイドブレーキ
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	10 方向指示器
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	11 点検
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	12 タイヤ
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	13 前照灯
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	14 ライトバー
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	15 バックミラー
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	16 ホーン
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	17 制動灯
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	18 エンジン
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	19 マフラー
/	/	/	:	:	km	ℓ	ℓ	20 ボディー腐り
備考								

事故履歴表

No.	日付	発生場所	原因	サイン
例①	14.07.01	パレットに衝突	運転	大損
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				
⑨				
⑩				
⑪				
⑫				

* 欠: 凹み腐れ等、日付、箇所を表示する
* 報告・連絡を忘れない

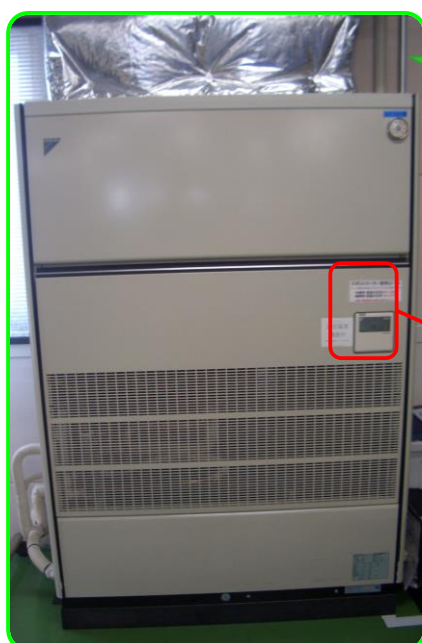
灯油使用量の削減 (単位:ℓ/百万円)		
目標と実績	2019 目標	6.20
	2019 実績	6.35
	2020 目標	6.08
	2020 実績	4.61
	達成度	132%
評価		◎



* 試行期間中にジェットヒーターの導入があり、灯油の使用量が大幅に増えた為基準値、目標値を見直しています。
(単位:ℓ/百万円)

活動計画	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント
	① 暖房使用時の温度設定(暖房)	製造課	継続	灯油ストーブの火災の危険性を考え電気ストーブへ変更した事の効果もあり使用量低減につながりました。またコロナ禍の影響で生産が落ちたことで使用量が減った事も影響しています。

【改善事例】



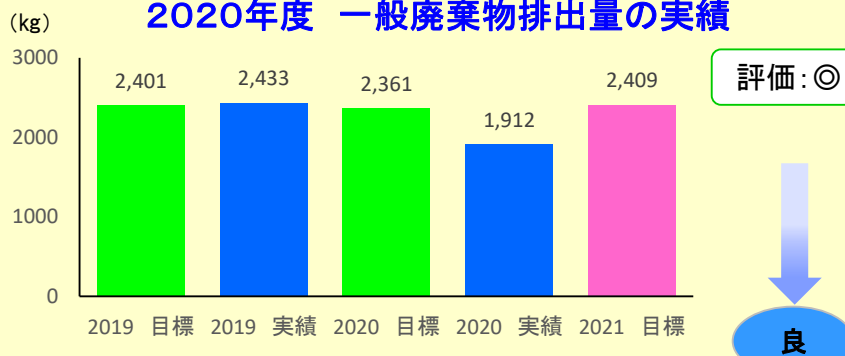
《3Fへ冷暖房を導入しジェットヒーターの廃止》
3Fの3課組付けにて冷暖房(電気)を新規で導入し、ジェットヒーターを廃止し灯油の使用量低減。



《灯油ストーブから電気ストーブへの変更》
灯油ストーブからの火災の危険性を考え電気ストーブへ変更し灯油使用量の低減

一般廃棄物排出量の削減 (単位:kg)		
目標と実績	2019 目標	2,401
	2019 実績	2,433
	2020 目標	2,361
	2020 実績	1,912
	達成度	124%
	評価	◎

2020年度 一般廃棄物排出量の実績



(単位:kg)

活動計画	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント
	①廃棄物の有価償却出来るものの確認	営業生産管理課	継続	・コロナ禍の影響で生産が落ち込み廃棄物も少なく、結果として大幅な低減となりました。
	②一般廃棄物の分別	品質保証課	継続	
	③コピー用紙の両面印刷の推進	総務経理課	継続	

【改善事例】



《リサイクルごみの分別》

焼却ごみをリサイクルにするため分別回収を実施。

《リサイクルごみの分別》

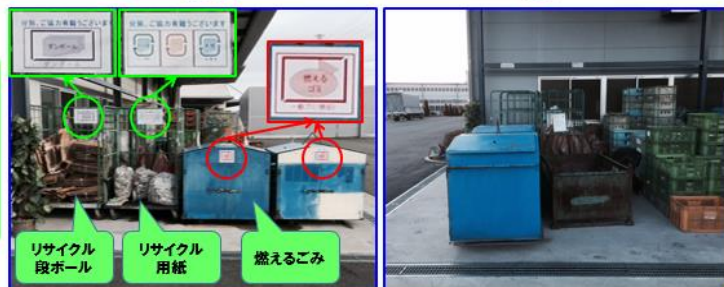
引取り業者への置き場の分別を開始。

一般ゴミ置き場をリニューアルしました

改善前



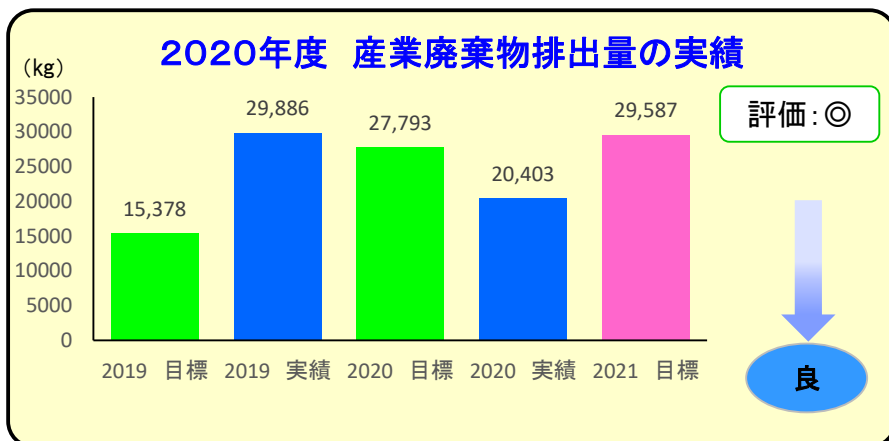
改善後



① 生ごみ、燃えるごみの飛散防止の為、回収ボックスを変更。

② リサイクルごみの置き場を新設。

産業廃棄物排出量の削減 (単位:kg)		
目標と実績	2019 目標	15,378
	2019 実績	29,886
	2020 目標	27,793
	2020 実績	20,403
	達成度	136%
評価		◎



(単位: kg)

項目	担当	次年度の取組	評価とコメント
①産業廃棄物の分別	製造課	継続	・コロナ禍の影響で生産が落ち込み廃油(含水)の排出量が減りましたので、結果として大幅な低減となりました。
②産業廃棄物の有価償却出来る物の確認		継続	

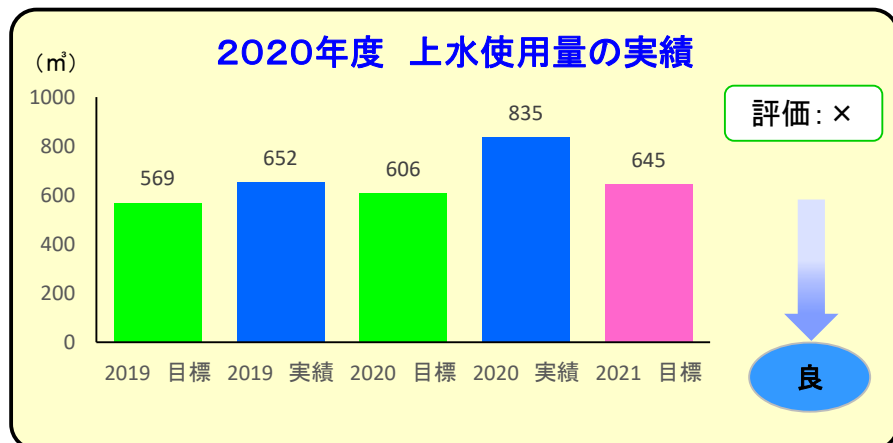
【改善事例】



《産業廃棄物の分別》

あいまいだった廃棄の種類を明確に変更し識別表示を付け廃棄する様変更。

上水使用量の削減 (単位: m ³)		
目標と実績	2019 目標	569
	2019 実績	652
	2020 目標	606
	2020 実績	835
	達成度	73%
	評価	×



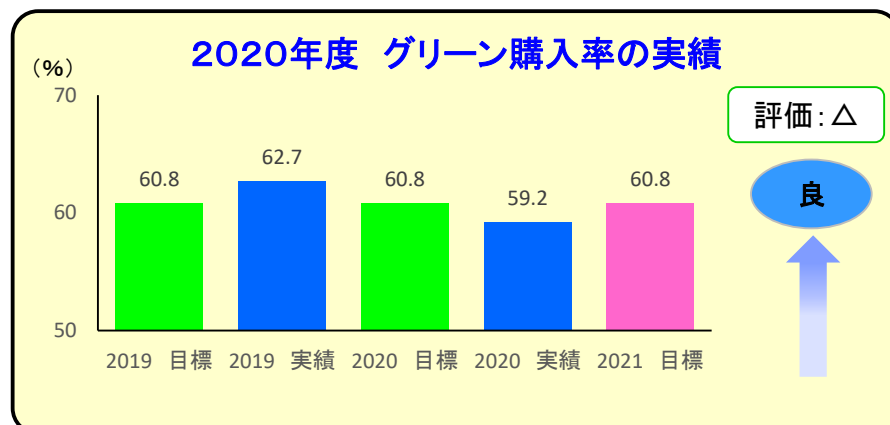
(単位: m ³)			
活動計画	項目	担当	評価とコメント
	① 上水使用量の監視・確認	総務経理課	・品質上の問題から切削油をリサイクルせず廃油(含水)の排出量が増えているため、2020年度から目標値を見直し活動を進めましたが、大幅に使用量が増加、調査の結果水漏れが原因で使用量が増えていました。
	③ 節水表示をし、意識向上		

【改善事例】



《意識向上のための節水表示》
節水を意識するための表示を手洗い場など水を使用する場所へ表示

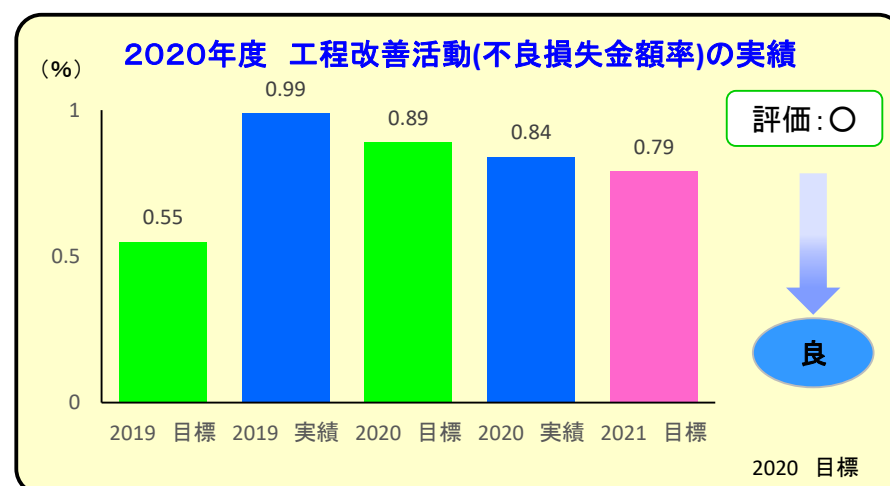
グリーン購入率の向上		
(単位: %)		
目標と実績	2019 目標	60.8
	2019 実績	62.7
	2020 目標	60.8
	2020 実績	59.2
	達成度	97%
	評価	△



(単位: %)

活動計画	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント
	① 購入時エコ商品選択	総務経理課	継続	・購入窓口を一本化。 ・目標の60.8%を維持することが出来ませんでした。

工程改善活動		
(単位: %)		
目標と実績	2019 目標	0.55
	2019 実績	0.99
	2020 目標	0.89
	2020 実績	0.84
	達成度	106%
	評価	○



(単位: %)

活動計画	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント
	不良損失金額の低減	製造課	継続	・毎月製造品質会議にて結果と対策内容を報告。 ・売上に対する損失金額の比率で評価。 ・工程内不良の低減活動により目標達成。

VI. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 主な適用環境関連法規等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
廃棄物の適正な処理の促進に関する条例(愛知県)
騒音規制法 振動規制法
水質汚濁防止法
県民の生活環境の保全等に関する条例(愛知県)
資源の有効な利用の促進に関する法律
特定家庭用機器再商品化法
使用済自動車の再資源化等に関する法律
使用済み小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律
公害防止協定書(みよし市)
フロン排出抑制法

上記環境関連法・協定については、遵守状況チェックシートにより確認した結果法令違反はありませんでした。(2021年1月29日実施)

2. 違反、訴訟等の有無

関係行政機関からの指摘・指導はなく、近隣からの苦情や訴訟もエコアクション21の取り込み時からありません。

VII. 代表者による全体評価と見直しの結果 (2021.5.21)

全体的に一言でいえば、良くも悪くもコロナの影響が大きかったと言わざるを得ない。

対象期間中の半分は、売り上げが30%ダウンとなっていた。

電気使用量の結果は削減はされて居るものの、それだけ生産性効率が落ちていた結果だと考えられる。

ガソリンについては 客先への訪問が極端に減った結果が大きい。

軽油については物量は減っても納品回数は変わらず、灯油は設備見直しが大きかったですね。

廃棄物に関しても、工場の稼働が落ちる事の影響がある事がよく分かった。

水に関しては、残念な事に トイレの老朽化による水漏れと給水機のバルブ老朽化の発見が遅れ大きな影響が出てしまったのは残念だった。今回業者さんに教えてもらった調査方法を社内にも取り入れて頂き、早期発見に繋げてもらいたい。

自動車業界では早くもCN(カーボンニュートラル)への対応が動き始めており、いよいよ全社的な取り組みが必要になってくると感じています。SDGsにも繋がる事なので、より分かりやすい活動を進めていってほしいと思います。